

おかやまっ子の確かな学びをつくる

# 岡山型 学習指導のスタンダード

～3つの視点と7つのポイント～



岡山県教育委員会

# 岡山型学習指導スタンダードについて

「確かな学力」を習得させる場は日々の**授業**である

- ①「基礎的・基本的な学習内容の定着」
  - ②「自分で考え、表現する活動の充実」
- 児童生徒が、「分かる・できる喜び」「考える楽しさ」が実感できる授業



- 授業を行うための基礎・基本を「授業5(ファイブ)」
  - 定期的に学習の定着を確認
  - 学習基盤を確立するための規律
- 学習指導全体を通じ押さえるべきポイント

# 3つの視点と7つのポイント

## 〈視点1〉

児童生徒の学力・学習状況の把握と  
課題の明確化を！

## 〈視点2〉

課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 〈視点3〉

学習基盤の確立を！



## 〈視点1〉

# 児童生徒の学力・学習状況の把握と課題の明確化を！

### Point 1

全国・岡山県の学力・学習状況調査や学習到達度確認テスト等、多様な資料やデータに基づき、児童生徒の学力の実態を分析・把握し、全教職員で課題の共有を！

分析から  
見えるものって何？

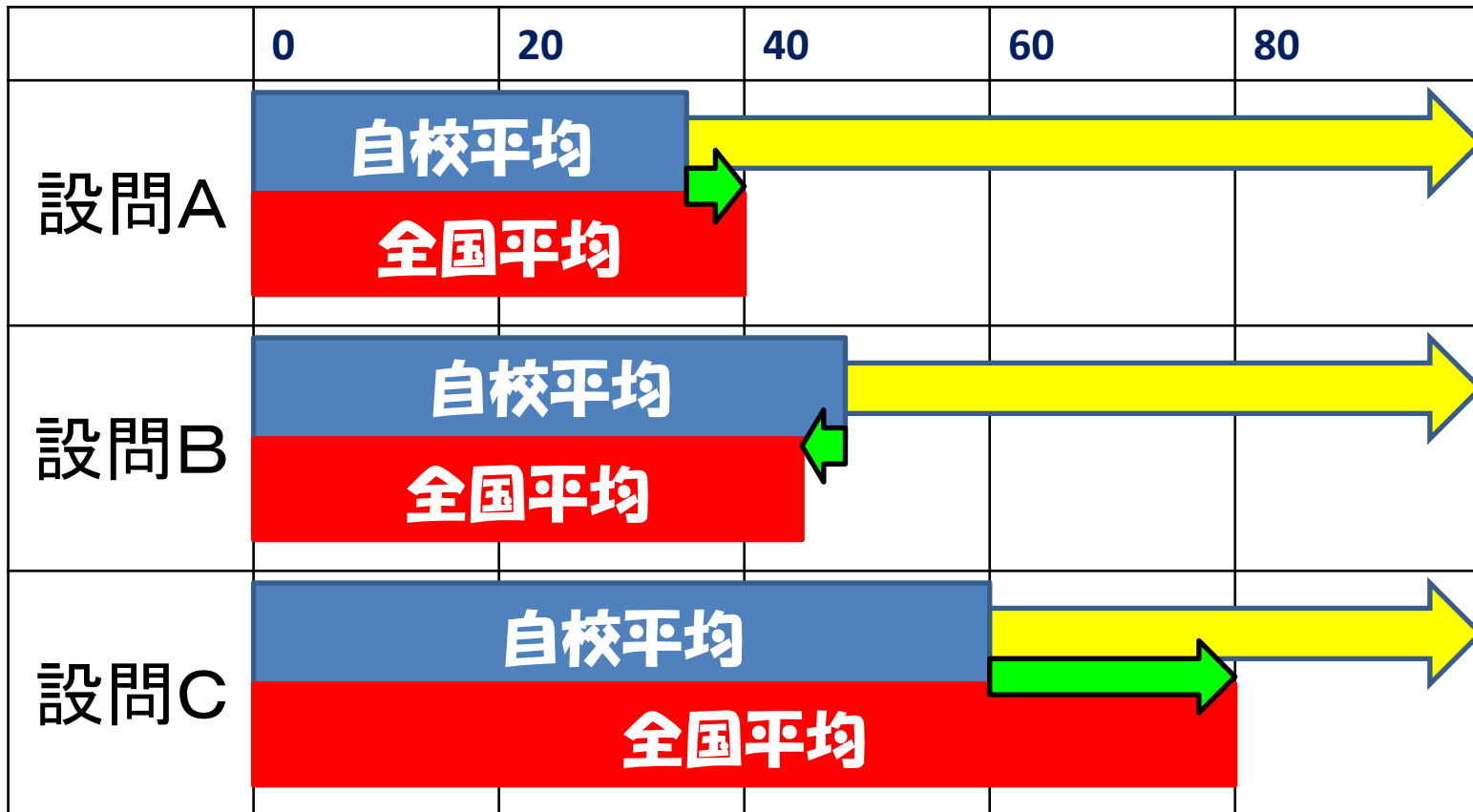
「担任も違えば、児童生徒も違う。結果は違って当然。」と思っていたけれど、**データを分析したら、数年同じ傾向が続いていたことがわかったんだって。**

分析をどう取組につなげればいいのか？

「正答率が低い設問が、本校の課題である。」それは間違っていないかもしれませんが、**異なったとらえ方**を試してみましたか？

# 〈視点1〉

## 児童生徒の学力・学習状況の把握と課題の明確化を！



見方を変えれば、課題の優先順位が変わるかもしれません。

**黄色**：100Ptが基準      課題の大きい順はA→B→C

**緑色**：全国平均が基準      課題の大きい順C→A→B

# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## Point 2

一単位時間、各単元、各学期、各学年で、【練習問題、単元末・学期末・年度末複合問題】の実施を！

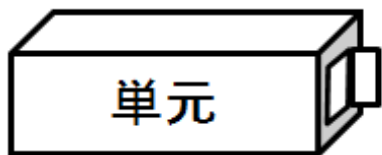
単元末ではできていたのに…

定期考査(単元末テスト)では、十分できていたのに、実力テストだと、結果が出ない。どうしてかなあ、できていたはずなのに…。



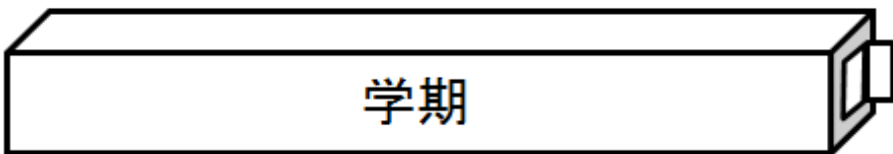
授業

授業5(ファイブ)と補充学習



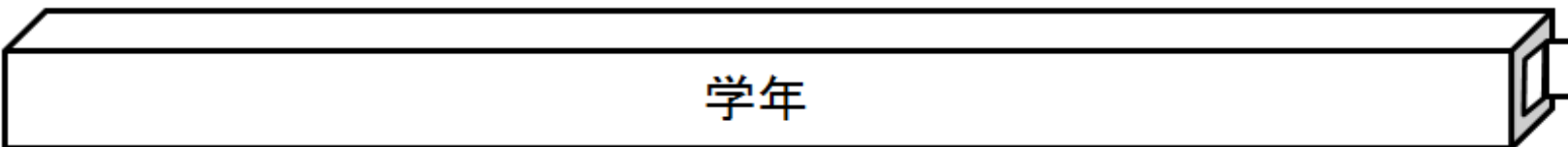
単元

単元末複合問題と補充学習



学期

学期末複合問題と補充学習



学年

年度末複合問題と補充学習

# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## Point 3

### 一単位時間の授業5（ファイブ）

#### ①めあて（目標）を示す

- 児童生徒が、本時で何をどのように学ぶのかが分かるようにします。

#### ③目標の達成度を確認する

- 児童生徒一人一人が本時の目標が達成されているかどうかを把握し、達成状況に合わせた個別指導を行います。

導入

展開

終末

#### ②自分で考え、表現する時間を確保する

- 一人一人の児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもち、その考えを表現することができる方法を示します。
- もった考えを交流することで、考えを深めたり広げたりすることができますようにします。

#### ④学習内容をまとめる

- 本時で何を学んだのかが分かるように整理します。

#### ⑤授業の振り返りをする

- 「分かったこと、できたこと、考えたこと」などを自分の言葉で書かせます。

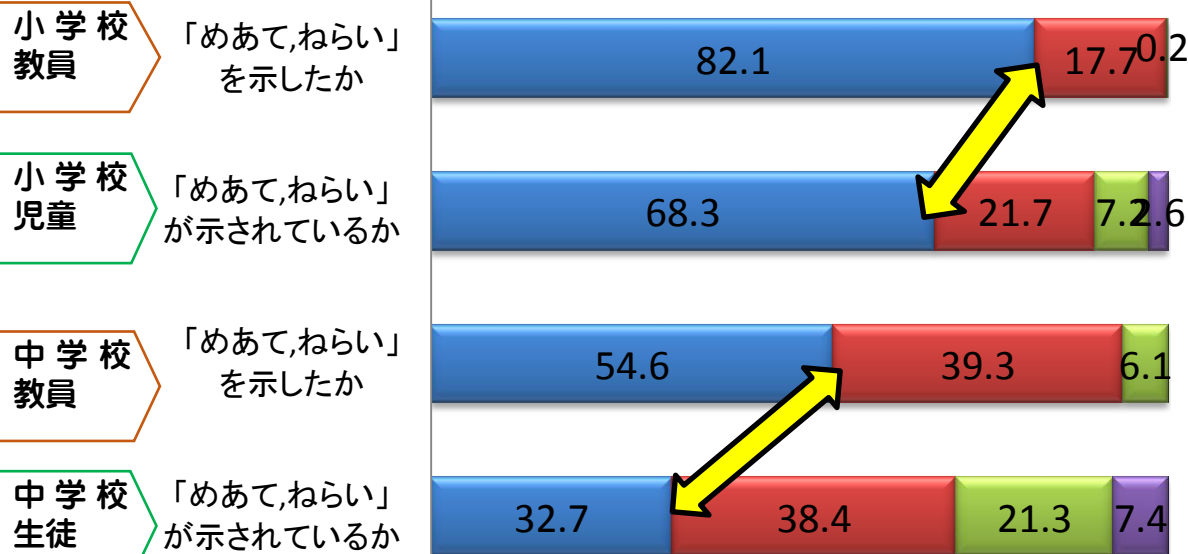
# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 一単位時間の授業5(ファイブ)

### ①めあて(目標)を示す

#### 岡山県 児童・生徒と教員の認識のずれ

■ そう思う                      ■ どちらかと言えば思う  
■ どちらかと言えば思わない      ■ そう思わない



めあて(目標)を明確につて？

「黒板に書いてあるのは、**目標ではなく、タイトル**のみです。これでは振り返ることができません。**タイトルと目標は異なります。**」と、言われたけれど、「**目標**」と「**タイトル**」はどう違うの？



# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 一単位時間の授業5(ファイブ)



### ①めあて(目標)を示す (例)

#### (例1)

#### 〇〇文化について

これは授業のタイトルであり、学習内容を振り返ることはできません。(不要というわけではありません。)

#### (例2)

#### 〇〇文化の特徴を まとめよう

まとめたかどうかを振り返ることはできますが、目標達成度を認識することはできません。

#### (例3)

#### 〇〇文化の特徴を 3つ挙げよう

児童生徒が、自分の学習を具体的に振り返ることはできます。

4つ→◎

3つ→○

2つ→△

## 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

### 一単位時間の授業5(ファイブ)

#### ②自分で考え、表現する時間を確保する

・交流する前に自分の考えを持っているか確認

・児童生徒が、自分の考えをもつために教員は思考・表現の手掛かりとなるものを示したり、準備したりします。



・話し合い活動は目的ではなく手段であり、身に付けさせたい力を意図して行わせます



「まず、話し合ってみましょう」と、いきなり話し合い活動にしているませんか？

# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 一単位時間の授業5(ファイブ)

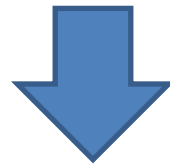


### ③目標の達成度を確認する

#### ・めあて(目標)が達成されているか確認

・授業の中で、**練習問題**  
**又は発問**によって、児童  
生徒一人一人の達成度を  
確認します。

「わかりましたか？」と  
「何か質問ありますか？」  
だけで、確認を  
済ませていませんか？



・習得状況に応じた個別指導から定着を  
図ります

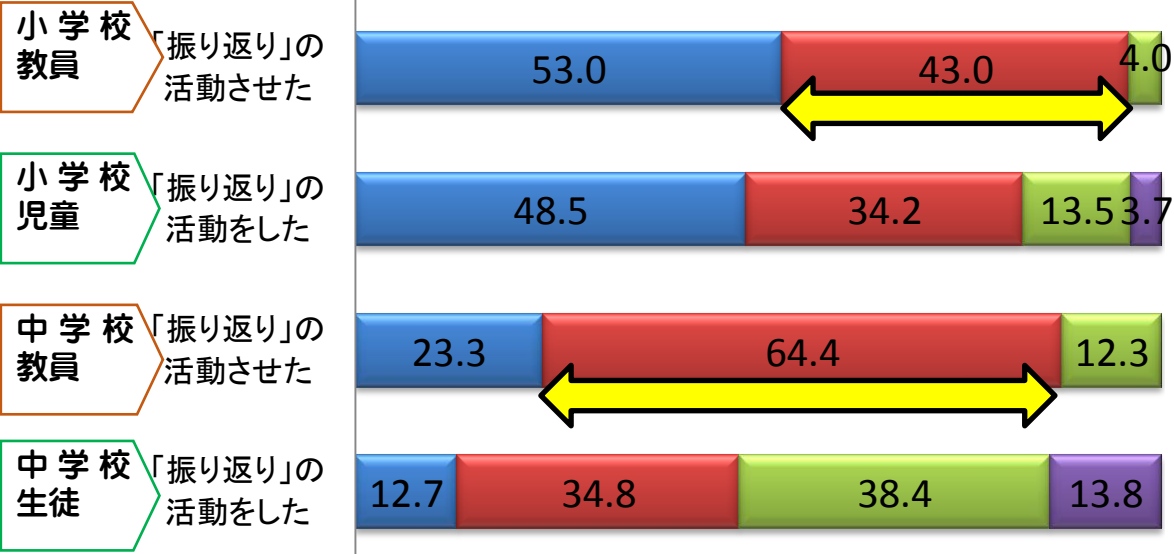
# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 一単位時間の授業5(ファイブ)

### ⑤授業の振り返りをする

#### 「振り返り」についての回答

- そう思う
- どちらかと言えば思う
- どちらかと言えば思わない
- そう思わない



「まとめ」と「振り返り」ってどう違うの？

「児童生徒に自主的な活動をうまく展開されていたのに、授業の「まとめ」と「振り返り」とを同時に行っているのでは、終末がぼやけてしまっているのが残念です。」と、言われたけれど、「まとめ」と「振り返り」って、どう違うの？

# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 一単位時間の授業5 (ファイブ)



④学習内容をまとめる

⑤授業の振り返りをする

まとめ

授業5の④と⑤が混在した「まとめ」

例1 ・AとBには、正比例の関係があることが分かった。

学習内容のまとめの発表(④)

例2 ・班のみんなと協力して、分かってよかった。

授業の振り返っての自分の気持ち(⑤)

例3 ・関係ないと思っていた数値に意味があって驚いた。

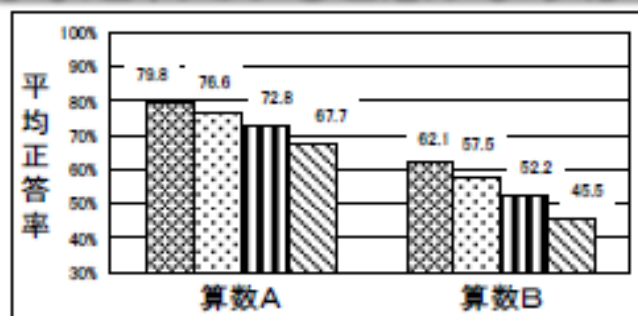
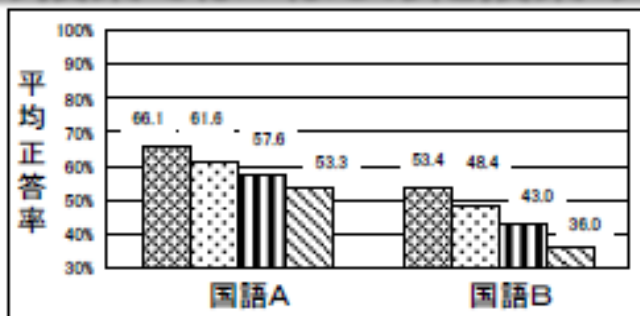
あいまいな状態、質問を追加して、明確にしたい。(④⑤)

# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

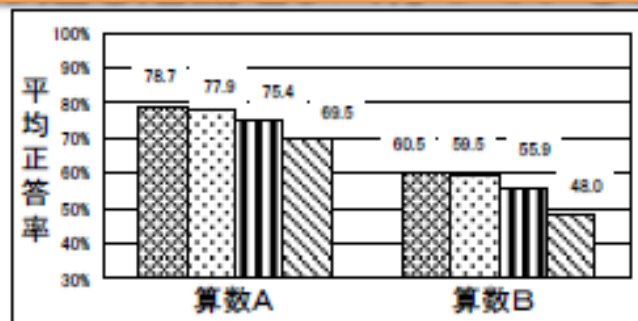
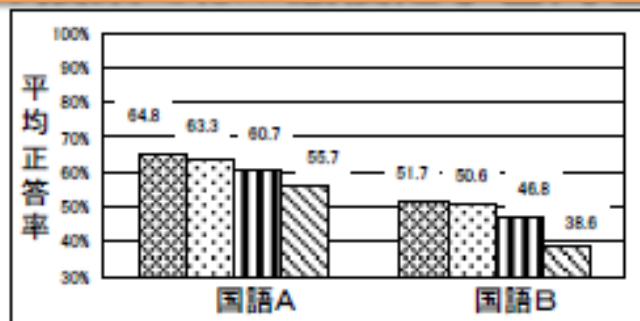
## 一単位時間の授業5(ファイブ)

H25年度全国学力・学習状況調査の平均正答率と相関があるとされています。(小学校)

普段の授業では、はじめに授業の目標が示されていると思いますか



普段の授業では、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか



# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## Point 3

### 一単位時間の授業5（ファイブ）

#### ①めあて（目標）を示す

- 児童が、本時で何をどのようするか分かるようにしな

#### ③目標の達成度を確認する

授業の中で確認していますか？

導入

終末

#### ②自分で考え、表現する時間を確保する

- 一人一人の児童生徒が、めあてに対する自分の考えをもち、その考えを表現することができるよう

教員の説明だけになっていませんか？

#### ④学習内容を整理とめる

- 本時で何を学んだのかが分かるように整理します。

混ぜていませんか？

#### ⑤授業の振り返りをする

- 「分かったこと、できたこと、考えたこと」などを自分の言葉で書かせます。

つながっていますか？

## 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

### 指導の基礎・基本

#### Point 4

授業の中で、机間指導の工夫等【指導の基礎・基本】に基づいた指導を！

#### 意図的な机間指導

- ・「個」を見ながら、「全体」を見取る
- ・「発表されていない表現」を探し、次に生かす
- ・つまずいている児童生徒への支援、理解の早い児童生徒への支援の両方が必要である
- ・児童生徒のやる気を育てる大切な時間である

→ 声の大きさと回る順番で「個」と「全体」に対応



# 〈視点2〉 課題改善を図る徹底指導の連続を！

## 指導の基礎・基本

Point 4

授業の中で、机間指導の工夫等【指導の基礎・基本】に基づいた指導を！

### 2 板書の構造化

これまで  
に学んだ  
ことなど

めあて

児童生徒の考えなど  
考え① 考え② 考え③

まとめ

練習問題など

### 3 ノート指導の徹底

日付 教科書のページ

めあて

自分の考え

友だちの考え

まとめ

練習問題

振り返り

板書を構造化すると、ノート指導につながります

# 〈視点3〉 学習基盤の確立を！

## Point 5

### 授業を支える学習基盤

学習基盤を確立するための規律【**学びのかなめ**（学習用具・時間・姿勢・話し方・挨拶・整頓・掃除）】の指導の徹底を！

教員によって指導が異なるのではなく、校内で統一した規律を全ての教員が、徹底することが大切です。



# 〈視点3〉 学習基盤の確立を！

## 授業を支える学習基盤

### Point 6

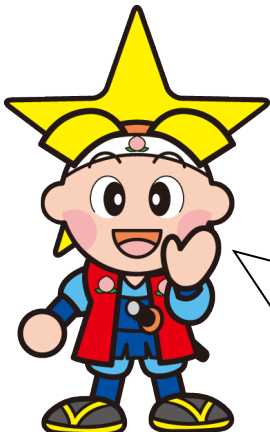
児童生徒の【出番】と【居場所】を意識した、  
学び合う学習集団づくりを！

#### 出番

児童生徒一人一人が活躍(発言)できる場面をつくります。

#### 居場所

過程をほめたり、認めたりする声をかけるなど、関わる  
ことが大切です。



児童生徒が、授業の中で主体的に学びを進め、互いに関わり合う場面を多く設定することで、認め合い、支え合う学習集団にしていきます。

# 〈視点3〉 学習基盤の確立を！

## 授業を支える学習基盤

Point 7

授業外での学習(家庭学習と補充学習)の充実からの学習習慣化を！

授業では学習内容が定着していなかった児童生徒には、補充的な学習や家庭学習等を工夫し定着を図ります。



### 家庭学習

- ・授業とつながる課題の出し方を
- ・家庭と協力して家庭学習を充実させるための連携を
- ・中学校区での小中連携を

### 補充学習

- ・授業直後の確認だけでなく、節目には定着の確認を
- ・地域の人材等、外部の協力を得ることも

## チェックシート

## 私の実践記録

「授業5(ファイブ)」と「学びのかなめ」のチェックシートを活用し、日々の指導改善に役立ててください。

日頃のご自身の授業について、今一度、振り返ってみましょう。  
また、校内の授業研究などの際にもご利用ください。

板書の写真などを貼るなど、授業等の実践記録などにご利用ください。



# お知らせ

授業づくりの資料は、他にもあります。目的に応じて効果的に活用してください。



授業づくりを含め、教員としての職務全般の遂行のために

平成26年度  
ともに創ろう  
おかやまの未来  
— 見て分かる教師ガイド —



平成26年3月  
岡山県総合教育センター

学校全体で  
授業改善に取り組むために

授業づくりの基礎・基本  
(実践編)

小学校版

平成26年2月  
岡山県総合教育センター



Step

1 2 3 4

指導要領を基に、単元レベルで授業を構想するために